

令和3年度事業報告及び計算書類の承認の件

I 事業の概況

1 事業の経過および成果

- (1) 講習(資格付与・教育)事業では、労働安全衛生法令改正に伴い、化学系技能講習の受講者数が増加したこと等により、受講者数合計は計画を3割程度上回る13,034名となりました。
- (2) 労働関係法令普及啓発事業では、「事例から学ぶ職場のメンタルヘルスケア」セミナーを開催し、また4年ぶりに「労災保険実務基礎研修」を実施しました。
- (3) 防災団体等共催事業では、富山県産業安全衛生大会を2年ぶりに開催しました。
- (4) 経常収益は265百万円(前年度比60百万円増)となりました。
一方、経常費用は239百万円(前年度比29百万円増)で、この結果、当期経常増減額は26百万円(前年度比32百万円増)となりました。
- (5) 公益目的事業である広報紙「とやま労基」の発行については、公益目的支出額は8百万円と、公益目的支出計画5百万円を上回りました。

<講習(資格付与・教育)事業>

- (1) 本年度の計画は受講者数10,384名としておりました。
期中において、床上操作式クレーン運転技能講習、クレーン運転業務特別教育など受講者数が計画を下回った講習があった一方、労働安全衛生法令の改正等に伴い、特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習、フルハーネス型安全帯使用従事者特別教育の受講者数が計画を大きく上回ったことなどにより、年間受講者数合計は計画を3割程度上回る13,034名となり、コロナ禍以前の水準を上回りました。
- (2) 当初計画を大きく上回る申込みのあった特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習、フルハーネス型安全帯使用従事者特別教育を中心に、追加講習、出張教育に鋭意、取り組むとともに、複数教室での同時講習(サテライト形式講習)を導入し、受講者数の増加を図りました。

<労働関係法令普及啓発事業>

(1) 労務部会・衛生部会合同で、「事例から学ぶ職場のメンタルヘルスケア～進めていますか？あなたの職場～」セミナーを開催しました。

- ・日 時 12月10日(金)14:00～15:40
- ・場 所 富山県民共生センター サンフォルテホール
- ・参加者 95名
- ・講 師 中央労働災害防止協会 中部安全衛生サービスセンター
専門役 山口 良枝 氏

※事例を通して、職場のメンタルヘルスケアをすすめるポイントを学び、ラインケア・セルフケア等の課題についての対策の理解を深める。

(2) 労災保険実務基礎研修

企業の労務担当者等を対象に、労災保険の基礎知識や実務、労働災害発生時の対応等に関する研修を実施しました。

- ・日時 2月28日(月) 参加者 48名

(3) ㈱労働調査会に協力し、建設業を対象とした「雇用管理研修(無料)」を

8月～11月にかけて実施しました。参加者数は合計105名でした。

<防災団体等共催事業>

(1) 富山県産業安全衛生大会(県内防災団体)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しましたが、本年度は7月に開催し、富山労働局安全衛生表彰式、事例発表を行いました。特別講演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止しました。

- ・7月15日 14:00～15:20 ボルファートとやま
- ・参加者 133名

(2) 全国安全週間説明会、全国労働衛生週間説明会(県内防災団体)

地 区	安全週間説明会参加者(6月)	衛生週間説明会参加者(9月)
富 山	262名	中止
高 岡	229名	〃
魚 津	125名	〃
砺 波	189名	〃
計	805名	—

- (3) 衛生管理者等労働安全衛生国家試験の出張試験(安全衛生技術試験協会)
令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、
本年度は下記のとおり実施されました。

開催場所	開催日	受験者数	合格者数	合格率(%)
富山大学	7月24日(土) 25日(日)	1,640	707	43.1

<公益社団法人 全国労働基準関係団体連合会受託事業>

外国人技能実習制度関係者養成講習事業

- ・技能実習責任者講習 9月20日(土) 参加者 19名
- ・技能実習指導員講習 9月21日(日) 参加者 18名
- ・生活指導員講習 9月22日(月) 参加者 12名

<労働保険事務処理事業> 労働保険事務組合

- ・労働保険料の申告・納付、雇用保険被保険者資格の取得・喪失の届出等の労働保険事務処理代行の事業です。

区分	富山	高岡	魚津	砺波	合計	前年度比
委託事業主数	154	26	6	1	187	△8
雇用保険被保険者数	2,331	242	6	2	2,581	△9

<労働災害保険事業> 100円労災

- ・労働災害が発生した場合に、法令給付に上乗せするものです。

区分	富山	高岡	魚津	砺波	合計	前年度比
加入事業場数	31	25	22	9	87	+3
加入者数	1,198	621	659	455	2,933	+198
給付件数	1	2	1	0	4	+3

<公益目的事業> 広報紙「とやま労基」の発行

- ・「とやま労基」は、4月、7月、9月、11月および1月の5回発行しました。
- ・1回の発行部数は4,200部、主な配布先は協会会員、労働災害防止団体、経済団体、富山労働局・各労働基準監督署などです。
- ・「企業紹介」、「Health Care」、「知っておきたい法律判例Q&A」、「災害事例」、「エッセー」を連載しています。
- ・「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞者、中央労働災害防止協会の「緑十字賞」受賞者のインタビュー記事を掲載しました。

2 対処すべき課題

当協会の経営基盤である講習事業は、令和3年度については、労働安全衛生法令改正等に伴う受講者数の増加により、回復傾向を示しましたが、依然として、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、受講定員数の抑制を継続せざるを得ないなど、厳しい状況が続いております。今後とも、出張講習や追加講習、サテライト形式講習の実施等により、受講者数を積み上げ、事業収入の増加を図り、安定的な経営基盤の確保に取り組んでいきます。

中長期的には、少子高齢化による労働人口の減少や産業構造の変化など、講習事業を取り巻く環境は厳しさを増すことが予想されますが、講習ニーズへの適切な対応、講習品質の向上を図るなどサービスの充実・向上に取り組み、引き続き、企業の皆様から選ばれる協会を目指します。

また、会員事業所の減少が続いていますが、講習受講申込みのあった未加入(非会員)事業所に対して、労働保険事務組合等の会員特典などについて、周知広報に努め、会員数の増加を図っていきます。

3 財務状況の推移

(単位:千円)

区 分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
講習会事業収益	211,300	217,149	213,529	159,205	223,208
経常増減額	21,604	25,810	22,801	△5,663	25,926
一般正味財産増減額	21,252	25,559	22,550	△11,322	25,658
総 資 産	462,252	486,538	501,731	476,828	507,301
設備投資額	6,152	5,157	10,292	660	4,172

(注)千円未満切捨て表示

II 法人の概況(令和4年3月31日現在)

1 主要な事業内容

労働安全衛生関係法令に定める資格付与・教育の事業、労働関係法令普及啓発事業、労働災害防止普及指導事業、災防団体等共催事業、労働保険事務処理事業、労働災害保険事業、広報紙「とやま労基」発行の公益目的事業

2 事務所

本 部（富山市）

支 部 富山支部（富山市） 高岡支部（高岡市） 魚津支部（魚津市）

砺波支部（砺波市）

3 会員の状況

脱退の理由は、廃業・統合等が 70%を占めるが、「加入メリットが見当たらない」等とするものも 30%ある。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
新規加入	28	24	26	35	36
脱 退	45	39	48	46	33
増 減	△17	△15	△22	△11	+3
年度末会員数	2,326	2,311	2,289	2,278	2,281

4 職員の状況

22 人(前年度末比±0)

5 当協会の役員氏名等

氏 名	地位および担当	常勤、非常勤の別
水谷 和久	会 長 *	非常勤
浅野 慎一	副会長 *	非常勤
藤 樫 茂	副会長 *	非常勤
山本 哲	副会長 *	非常勤
齊田 茂	富山支部長	非常勤
沖 孝則	高岡支部長	非常勤
福井 英夫	魚津支部長	非常勤
西能 徹	砺波支部長	非常勤
上野 等	理 事	非常勤
溝口 道晴	理 事	非常勤
西山 知克	理 事	非常勤
定村 剛	理 事	非常勤
大西 賢治	理 事	非常勤
長谷川幸伸	理 事	非常勤
牧 秀輔	理 事	非常勤

氏名	地位および担当	常勤、非常勤の別
藤田 淳二	理事	非常勤
目澤 裕之	専務理事・管理部長	常勤
高柳 一仁	本部事業部長	常勤
橋向 隆夫	富山支部事務局長	常勤
柴 三知夫	高岡支部事務局長	常勤
野田 太平	魚津支部事務局長	常勤
早川 清	砺波支部事務局長	常勤
中嶋 郁代	監事	非常勤
酢谷 健司	監事	非常勤
佐々木祐二	監事	非常勤
横山 征典	監事	非常勤

(注1) *印は、代表理事であります。

(注2) 当期中における役員の変動は次のとおりです。

令和3年6月9日	理事 阿部浩司、同 伊藤智之、同 岩木貴之、 同 奥 敏朗、同 小谷 誠、同 金木春男、 同 衣川雅彦、同 左川敏明、同 塩原日佳、 同 高子 康、同 竹内利二、同 辻 利彦、 同 林 延幸、同 松本重夫が退任 監事 高藤 徹、同 太田良郎が退任
令和3年6月9日	上野 等、大西賢治、沖 孝則、齊田 茂、定村 剛、 高柳一仁、西能 徹、西山知克、野田太平、長谷川幸伸、 福井英夫、藤田淳二、溝口道晴、牧 秀輔が理事に就任 中嶋郁代、横山征典が監事に就任

以上

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上